

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable！ Learn together Act together

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 URL <http://katsuyamarc.jimdo.co> Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3041回 例会 (7月16日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



ようやく梅雨も明けそうな雰囲気になり、大相撲名古屋場所も熱を帯びて毎日の取り組みが楽しみです。

ところで、ボーズマンサンライズRCの受け入れが終わったばかりですが、先日勝山市の未来創造課よりインドネシアの高校生のホームステイ受け入れのお願いがありました。

皆さんのお手元に簡単なスケジュール表があると思いますが、是非とも3~5家族(1家族3名程度)で受け入れをお願いしたいと思います。

未来創造課では勝山ロータリークラブと勝山ライオンズクラブを軸においてお願いしたいとのことです。

ちなみに上山会員と私はインドネシアの技術研修生などで接点があるので受け入れる予定です。

皆さん、よろしくお願いします。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○本日19:00より理事役員会を開催しますのでご出席をお願いします。

◆到着物

- 武生ロータリークラブ 70周年記念誌
- RYLA 活動報告書

●出席報告

多田 慶一郎

7月16日	欠席5名	79.17%
7月9日	欠席1名	95.65%

●ニコニコ報告

山内 政司

届出欠席

山本泰司

会員卓話

楽しいロータリーになるには

山本 泰司 会員



今日のテーマとして、会長の掲げる「楽しいロータリー」になるにはどうしていったらいいのかを考えていこうと思います。

私自身、楽しいことは好きですし、楽しいところには笑顔が溢れて行ったり、楽しい共感が生まれてくるのではないかと考えております。

私自身入会して半年も経っていない状況で、ロータリー

というものがどういったものかというのは正直 把握できていません。今日は質問形式で皆さんに意見をお聞きしながら進めていけたらと思っています。

ロータリーとはということでまずは渊上会員からお話を聞きました。



本日 プログラム	ゲスト卓話 和田晃幸氏	7月30日 プログラム	休会	8月6日 プログラム	事前クラブ協議会	8月13日 プログラム	休会
-------------	----------------	----------------	----	---------------	----------	----------------	----

ロータリーは2人の会員が推薦して1人を選ぶ推薦制のクラブです。以前は1業種



1人でした。ロータリーに入会する人は勝山では少ないですが、インドでは入会希望者が多く、抽選や順番待ちとなっています。インドや韓国はロータリー意識が高いように思います。一番の中心はアメリカです。ロータリーの歴史は本で勉強していただくとして、アメリカでロータリアンだった米山梅吉氏が帰国し、東京RCを創立しました。奉仕の理想をみてみますと、昔の言葉が随分あります。この歌は京都で生まれました。先日亡くなった栗田バスター、千玄室大宗匠など大先輩の後ろ姿を見て我々も元気をもらいロータリーを楽しむことができます。ロータリーを勉強しますと、必ずプラスになっていると思いますので例会に出席するという事は人生にプラスになるという思いで参加していただきたいと思います。

淵上さんから話を聞きましてロータリーの重みというものを感じたような気がしました。今後新入会員を増やしていくことや様々な活動をしていくきっかけになればいいなと思って、このような形をとらせてもらっていますが、新入会員の私から見たロータリーの現状という、例会ではセレモニー、会長スピーチ、昼食、事業や会員卓話やゲスト卓話という形で、友情であったり奉仕というものを育てている団体であると認識していました。先日、京都での地区大会に出席しまして、新会員セミナーに参加しました。ロータリーの歴史的なところは正直聞けなかったんですが、主に地域貢献をしていく団体だと聞きました。地域貢献をしていながら、友情であったりロータリーの精神というものをしっかりと持ちながら今年のテーマである楽しいロータリーというものをしていくにはどうすればいいのかなというふうに思っています。そこでどうしたら楽しくなるかをネット検索して出てきた10か条を紹介します。

1. 自分の思い通りに行動する
2. 最愛のパートナーを見つける
3. 笑顔を意識すること
4. 趣味に没頭する
5. 他人のためを思った行動をする
6. 一日一個楽しいと感じることを行う
7. 多くの人と接して、価値観を広げる
8. 今までやったことがない物事にチャレンジする
9. 定期的にストレスを発散する
10. 健康体を維持すること

ロータリーの日々の活動で関係する項目は5.6.7.8のことかなという風を感じ、特に7と8がすごく重要なんじゃないかなという風に考えました。そこで今後ロータリーでやっていきたいことっていうのを発表させていただきます。もしかするとロータリーのルールに則ってなくて出来ないこともあるかもしれません。

・会員同士の交流の場を増やしたい

入会して半年経ちますがまだ会員の方と交流できていません。時間を費やさなければ会員同士の理解は深められないと感じています。例会の時間で1週間の出来事などを話せる機会があれば少しずつ交流が深まりお互いの理解も深まると思いました。

・ロータリーで色々な団体と交流

ロータリーの求める久遠の平和のためにも、色々な団体間の確執をなくしていくことで住みやすい勝山になっていくのではないかと感じていて、できることなら共同で何かをやっていけたら面白くなっていくのではないかと考えています。

・チャリティイベント

募金や協賛するだけでなく、一つの物事に対して会員同士が力をあわせてチャレンジしていくことができないかと思っています。

色々な事にチャレンジして、交流を広げるロータリー

というのが楽しいロータリーに繋がるのではないかと、青年会議所での10年間はチャレンジし続けた10年だったと思っていて、大変なことや難しいこともたくさんありましたが、振り返ればよい経験でよい思い出になっていて、その時に交流した人たちとは今でも深いお付き合いをさせていただいています。

いかにチャレンジすることに意識を共通できるかが、より楽しくなることに繋がるのではないかと感じ、私の考える「楽しいロータリー」ということで、今後のロータリー活動の指針として発表させていただきました。

最後にスティーブ・ジョブズが「終着点は重要じゃない、旅の途中でどれだけ楽しいことをやり遂げているかが大事なんだ」という言葉を残されていました。

失敗したり躓くことがあっても何回もトライしてみんなと一緒にこの時間を過ごし、共感していくことが今後のロータリーがもっと楽しくなるし魅力あるロータリーになっていくのではないかと感じています。